

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理を經過お届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

カーセキュリティシステム **LS-77 ST**

●保証期間

※お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※お客様

ご住所 〒

TEL ( ) -

お名前

※販売店

店名・住所 〒

TEL ( ) -

※保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルマル**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

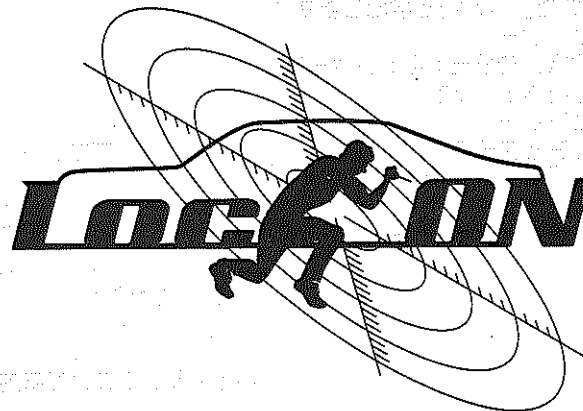
MARUHAMA

CAR SECURITY SYSTEM

# LS-77 ST

## 取扱説明書

<保証書付>



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、保証書と共に保管してください。

**まず最初に充電します。**

初めてご使用になるときは本書を参照のうえ、十分に充電してからご使用ください。

## ■本製品の特長

### ■簡単に取付可能

複雑な配線工事の必要がないため、自分で簡単に取り付けられます。

### ■オートセキュリティシステム搭載

リモコンを持って車から離れるとセキュリティON、リモコンを持って車に近づくときセキュリティOFFに自動的に切り替わります。  
車を乗り降りする際にセキュリティ操作の必要がありません。

### ■高感度センサーにより5種類の異常を検出

高感度センサーにより、車上荒らしで想定される各種異常を検出します。  
検出する異常は、「うろつき」、「侵入」、「振動」、「衝撃」、「ドア開放」の5種類です。

#### ●人体センサー

電波を利用し物体の動きを検出するセンサーです。  
「うろつき」、「侵入」を検出します。

#### ●振動センサー

車両の振動を検出するセンサーです。  
「振動」を検出します。

#### ●圧力センサー

車内の音と空気の圧力の変化を検出するセンサーです。  
「衝撃」、「ドア開放」を検出します。

### ■車種に合わせたセンサー感度の調節が可能

車種に合わせて、人体センサーと振動センサーは「高」、「中」、「低」の3段階、  
圧力センサーは「高」、「低」の2段階に感度切替が可能です。

### ■車内の物音を確認可能

不審者が車内にいる場合などに、離れた場所からリモコンで車内の物音を聴くことができます。(30秒間)

### ■車内画像の撮影・保存

異常検出時に、カメラユニットで車内の様子を撮影し、画像メモリーユニットに保存します。  
保存した画像は、TVモニターやパソコンで再生可能です。

## 目 次





1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 各部名称	4
4. 取付方法	7
4. 1 本体ユニットの取付	7
4. 2 電源ユニットの取付	8
4. 3 カメラユニットの取付	10
4. 4 画像メモリーユニットの取付	11
4. 5 キーホルダー取付用リングの取付	12
5. 使用方法	13
6. 電源について	16
6. 1 バッテリー残量低下時	16
6. 2 リモコンの充電方法	16
6. 3 電源ユニットの充電方法	17
7. リモコン・本体ユニットの機能	19
7. 1 通信機能	19
7. 2 リモコン操作	20
7. 3 威嚇動作と異常検出	30
7. 4 各種設定	34
7. 5 ID登録	43
8. 画像メモリーユニット・カメラユニットの機能	46
8. 1 画像メモリーユニット・カメラユニット を接続してできること	46
8. 2 画像メモリーユニット・カメラユニットの設置	46
8. 3 設置後の動作	57
8. 4 画像の再生方法	59
9. 仕様	63

# ■ 1. 安全についてのお願いとご注意 ■







本製品を安全にご使用いただくためには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書の表示には、安全に正しく使用して、お客様や他の人への危害と財産への損害を防ぐために、いろいろな絵表示をしています。

本製品をご使用になる前にこれらの内容をよくお読みになり、内容を理解してから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外で使用になったことにより発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いかねます。

## ■ 絵表示の例

-  △記号は気をつける必要があることを表しています。(警告・注意)
-  ⊘記号はしてはいけないことを表しています(禁止)。図の中や近くの表示は禁止の内容(左図は分解禁止)を示し、一般の禁止は⊘です。
-  ●記号はしなければならぬことを表しています(強制)。
-  一般の表示は●です。

## ■ 安全上の注意

-  ■本製品は一般日常生活において使用してください。人命にかかわる場所や高い信頼性、安全性が要求される場所では使用しないでください。
-  ■電池を本製品に挿入する場合は極性(プラス、マイナスの方向)に注意して指示通り正しく入れてください。
-  ■万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、漏電、感電の原因となります。直ちに電源を切り、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
-  ■本製品を分解、改造しないでください。故障の原因となるほか、電波法により罰せられることがあります。
-  ■各ユニットの取付は、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
-  ■エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

## ■ 使用上の注意

- 万一発生した盗難、人身事故などによる損害、被害の補償はできません。セキュリティの補助的役割としてご使用ください。
- 本製品は12V車専用ですので24V車での使用はおやめください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 長時間使用しない場合は電池を抜いてください。また、電池交換する場合は、必ず指定の電池を使用してください。
- 接続コードは同梱のもの、あるいは指定のオプション品を使用してください。
- コネクターには方向性があります。間違った方向で無理にはめようとししないでください。
- 本製品は防水仕様ではありません。雨水などがかからないようにご注意ください。
- 使用するときは、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、ドア開放を正しく検出できません。
- 強い雨や雹(ヒョウ)などが降った場合、または地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では本製品のセンサーが働き、警報することがあります。このような場合は、センサーの感度を調整してお使いください。
- 本製品のリモコンは、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、リモコン操作ができにくくなる場合があります。
- 車のウィンドウにフィルムが貼ってある場合、または雪が積もっている場合にはうろつき検出ができなくなったり感度が低下する場合があります。

## ■ 日頃から防犯をお心がけください

本製品は車に加えられた異常を検出して警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して常に万全ではありません。日頃から防犯をお心がけください。

1. エンジンキーをつけたままの状態、車から離れない。
2. 車を離れるときは、すべてのドアがロックされていることを必ず確認する。
3. 駐車中はすべてのウィンドウを完全に閉める。
4. 車内に貴重品を置かない。  
貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
5. 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

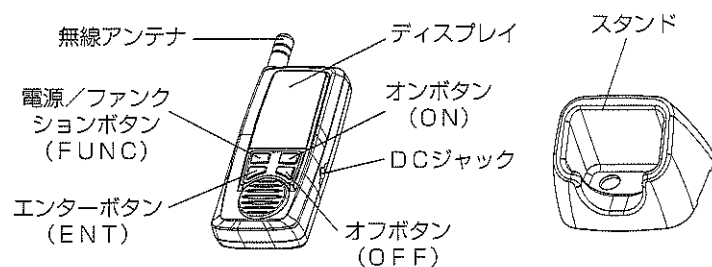
## 2. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

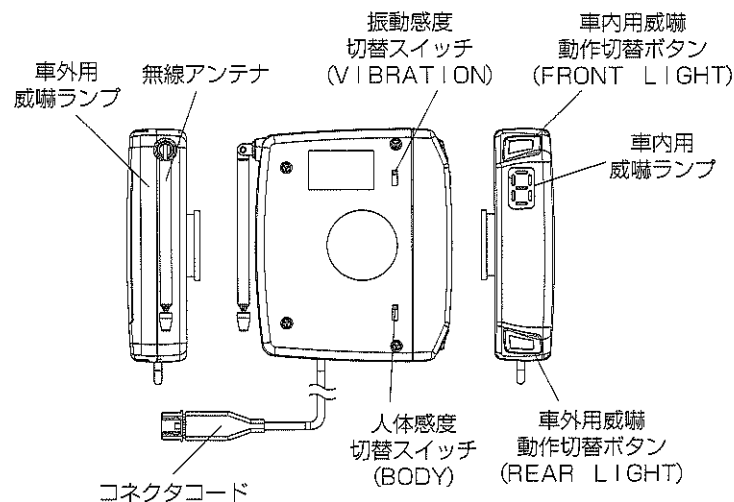
- 本体ユニット.....1台
- 取付ステー.....1台
- サンバイザークリップ.....1枚
- ステー取付用両面テープ.....1枚
- リモコン.....1台
- スタンド.....1個
- ACアダプター.....1個
- キーホルダー取付用リング.....1個
- 電源ユニット.....1台
- カー電源コード.....1本
- 電源ユニット取付用マジックテープ.....1セット
- ソーラーパネル.....1台
- ソーラーパネル取付用両面テープ.....1枚
- カメラユニット.....1台
- カメラユニット取付用両面テープ.....1枚
- 画像メモリーユニット.....1台
- パソコン用画像表示ソフト (CD-ROM) .....1枚
- ビデオケーブル.....1本
- パソコン接続用ケーブル.....1本
- 画像メモリーユニット取付用マジックテープ.....1セット
- 取扱説明書兼保証書 (本紙) .....1部

## 3. 各部名称

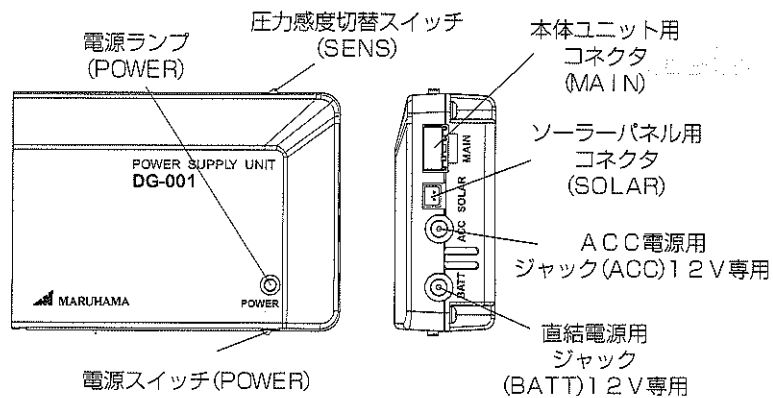
### ■リモコン



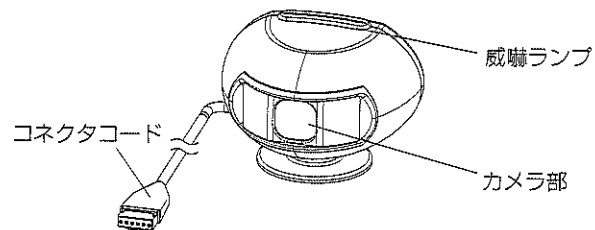
### ■本体ユニット



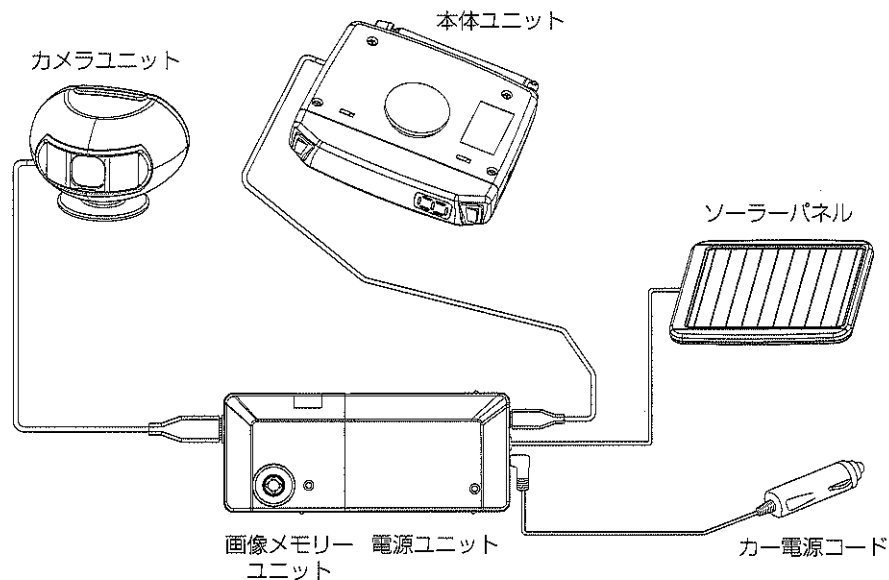
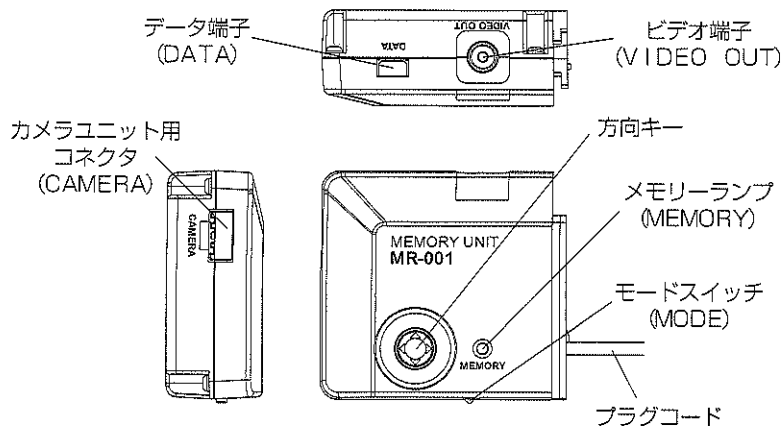
■電源ユニット



■カメラユニット



■画像メモリーユニット

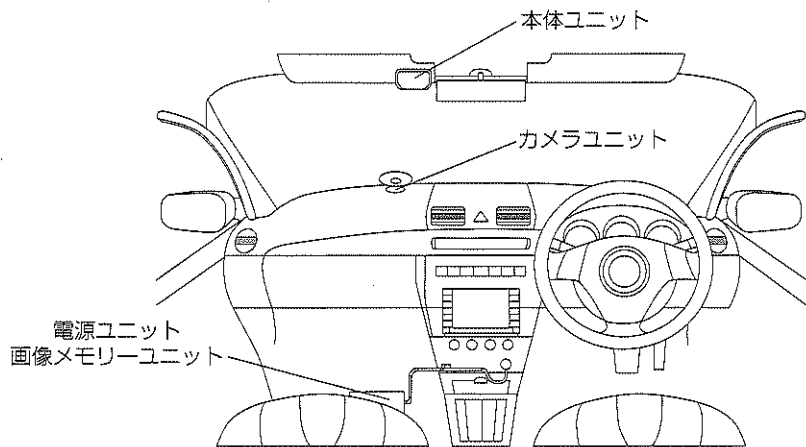


接続図

◆注意

本製品は12V車専用ですので、24V車での使用はおやめください。

## 4. 取付方法



車内図

※電源ユニット・画像メモリーユニットは取り外す場合がありますので配線はゆとりを持って行ってください。  
本製品は12V車専用です。

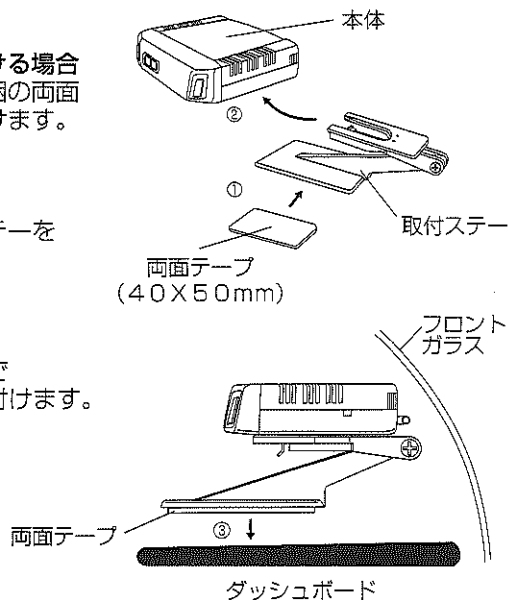
### 4.1 本体ユニットの取付

#### ■ダッシュボードに取り付ける場合

①付属の取付ステーに同梱の両面テープの片面を貼り付けます。

②本体ユニットに取付ステーを取り付けます。

③両面テープのもう一方をダッシュボードに貼り付けます。

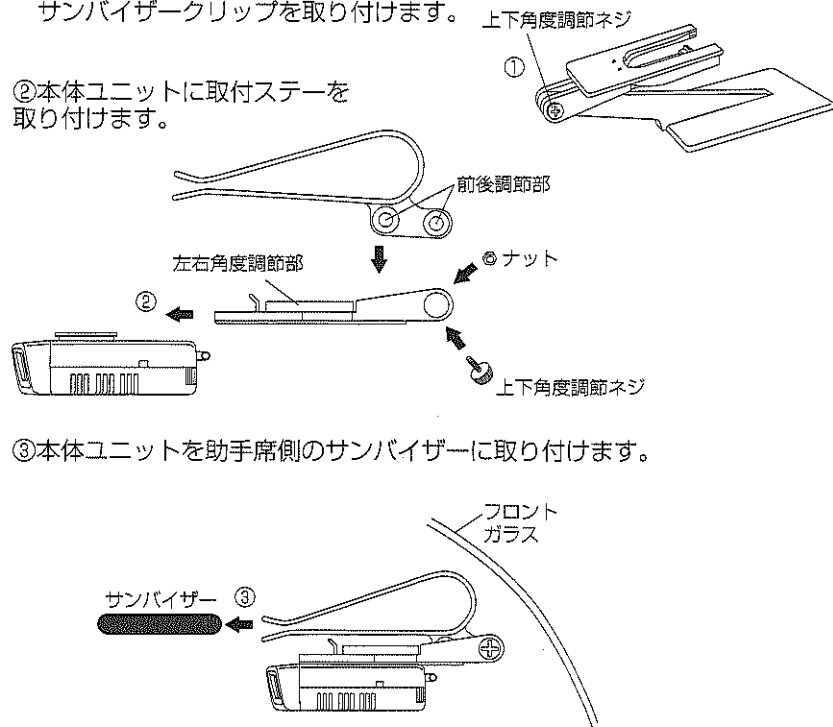


#### ■サンバイザーに取り付ける場合

①取付ステーの上下角度調整ネジを外し、サンバイザークリップを取り付けます。

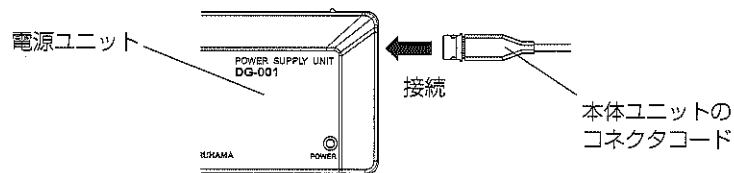
②本体ユニットに取付ステーを取り付けます。

③本体ユニットを助手席側のサンバイザーに取り付けます。

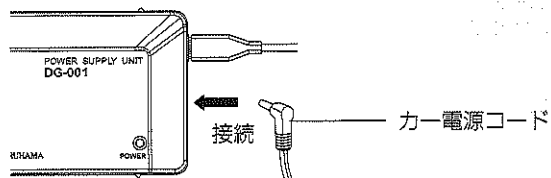


### 4.2 電源ユニットの取付

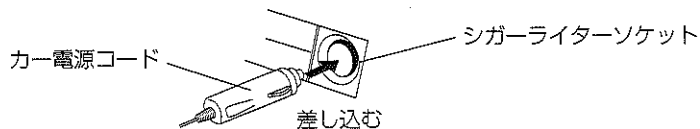
①本体ユニットから出ているコネクタコードを本体ユニット用コネクタ (MAIN) に接続します。



②カー電源コードをACC電源用ジャック(ACC)に接続します。



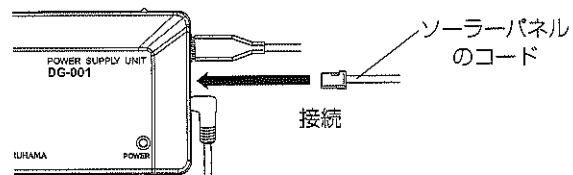
③カー電源コードをシガーライターソケットに差し込みます。



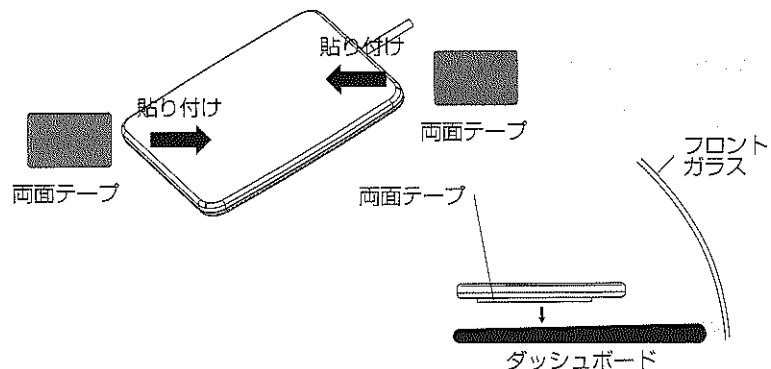
**ご注意**

シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因になりますので、よく掃除してから取り付けてください。

④ソーラーパネルをソーラーパネル用コネクタ(SOLAR)に取り付けます。



⑤ソーラーパネルはダッシュボードに取り付けます。付属の両面テープで貼り付けてください。



**ご注意**

- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバッグの近くには取り付けしないでください。
- 太陽光が十分に当たる所に取り付けてください。

⑥電源ユニットは助手席側の足元の邪魔にならない場所に取り付けます。付属のマジックテープで貼り付けてください。



**ご注意**

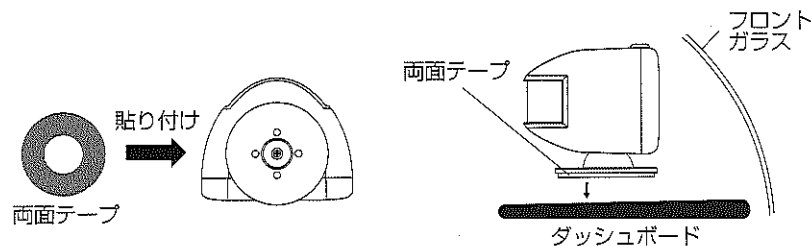
電源ユニットは直射日光の当たる場所に取り付けしないでください。

**ちょっと一言**

充電電池の寿命は約3年です。

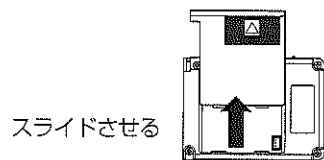
**4.3 カメラユニットの取付**

レンズ側を車内に向けて、ダッシュボードに取り付けます。カメラの位置合わせは、カメラモードで撮影画面を確認しながら行ってください。(P. 49参照)  
位置が決まったら、付属の両面テープで貼り付けてください。

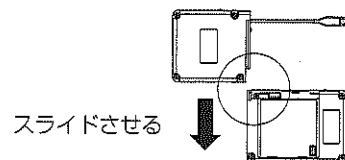


#### 4.4 画像メモリーユニットの取付

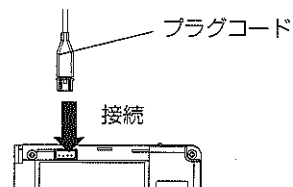
①電源ユニットの電池カバーを外します。



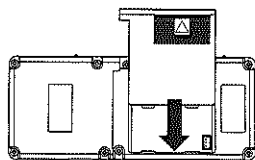
②電源ユニットと画像メモリーユニットを組み合ませます。



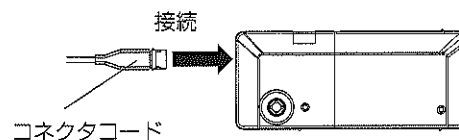
③画像メモリーユニットのプラグコードを電源ユニットのコネクタに差し込みます。



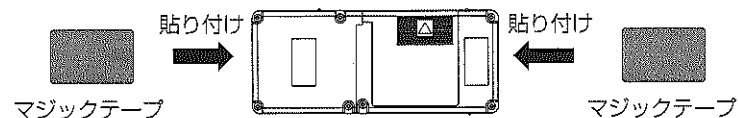
④電源ユニットの電池カバーを閉めます。



⑤カメラユニットから出ているコネクタコードを画像メモリーユニットのカメラユニット用コネクタ(CAMERA)に接続します。

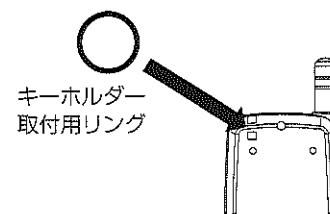


⑥助手席側の足元の邪魔にならない場所に取り付けます。付属のマジックテープで貼り付けてください。



#### 4.5 キーホルダー取付用リングの取付

リモコン裏面のくぼみにキーホルダー取付用リングを取り付けてください。

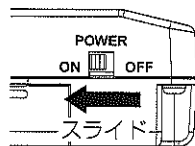




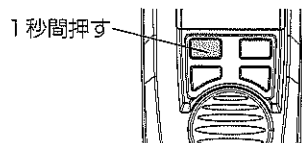
## 5. 使用方法

### 操作方法

①取付が終了後、電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をONにします。

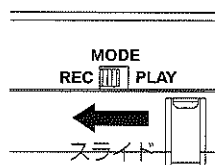


②リモコンの電源ボタン(FUNC)を1秒間押し、リモコンの電源をONにします。



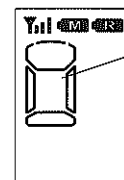
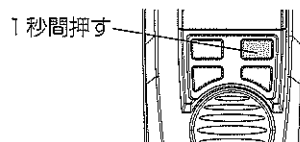
リモコンのディスプレイ  
(電源ON時)

③カメラユニットによる撮影を行う場合は、画像メモリーユニットのモードスイッチ(MODE)を「REC」側に切り替えます。



④車から降ります。

⑤リモコンのオンボタン(ON)を1秒間押し、セキュリティがONになります。  
リモコンのディスプレイに車マークが点滅表示されます。  
車マークが点滅を始めてから30秒が経過すると「ブプッ」とブザーが鳴り、センサーの検出が始まります。  
センサーの検出が始まると、車マークは点灯します。



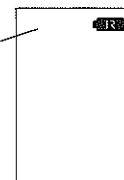
車マーク

リモコンのディスプレイ  
(セキュリティON時)

### ご注意

- 本体ユニットより先にリモコンの電源をONにすると、通信エラーが起きます。本体ユニットの電源をONにしてからリモコンの電源をONにしてください。
- 通信エラー時は、リモコンのブザーが「ピピピ…」と鳴り、ディスプレイが赤く点灯し、アンテナマークとバッテリーマーク(電源ユニット)が消灯します。
- 通信エラー後、本体ユニットとの通信が成功すると、ディスプレイ上のアンテナマークとバッテリーマーク(電源ユニット)が点灯します。

アンテナマークとバッテリーマーク(電源ユニット)が消灯



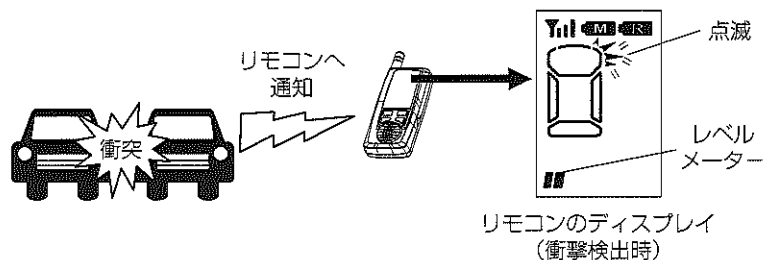
リモコンのディスプレイ  
(通信エラー時)

## セキュリティがONになっていると

セキュリティがONになっている時、本体ユニットは30秒毎に威嚇ランプ点滅による威嚇動作を行います。

また、車への衝撃、不審者のうろつきやドアの開放などの異常を検出すると、警報アラームと威嚇ランプ点滅による警報動作を行い、リモコンに異常を通知します。

通知を受けたリモコンは警報アラームを鳴らし、ディスプレイに異常に応じた表示をします。



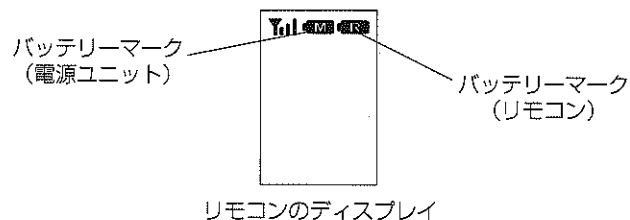
異常検出時の例

カメラユニットを接続している場合は、異常検出時に撮影が行われます。

## 6. 電源について

### 6.1 バッテリー残量低下時

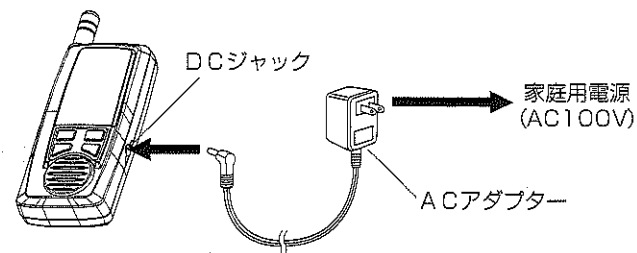
バッテリー残量が低下すると、リモコンのディスプレイ上のバッテリーマークが点滅します。



電源ユニットのバッテリー情報は、本体ユニットとの通信時に取得します。このため、本体ユニットと通信ができないときには、電源ユニット用バッテリーマークは表示されません。

### 6.2 リモコンの充電方法

リモコンのDCジャックにACアダプターを接続し充電を行ってください。



※8時間の充電で約7日間使用できます。

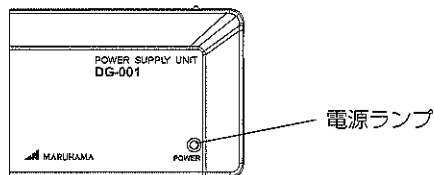
### ちょっと一言

リモコン内蔵の充電電池の寿命は約3年です。

### 6.3 電源ユニットの充電方法

カー電源コードにより、外部電源(車のバッテリー)を電源ユニットに接続し、内蔵の充電機に充電します。  
急速充電中は電源ランプが点灯します。  
充電機が空の状態から、急速充電2時間でフル充電されます。  
フル充電で約7日間使用できます。

#### ■電源ユニットの電源ランプ表示



電源ユニット

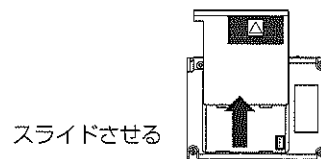
電源ON時	電源ランプ2秒間点灯
電池残量 多	電源ランプ消灯
電池残量 少	電源ランプ点滅
急速充電中	電源ランプ点灯

#### ●注意

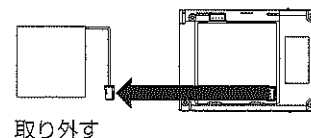
本製品は12V車専用です。  
電源ユニットの電源スイッチ(POWER)がOFFですと急速充電できません。  
急速充電を行う際には、電源スイッチをONにしてからエンジンを始動してください。  
電源を入れた直後に電源ランプが2秒間点灯しない場合は電池残量がなくなっていますので充電を行ってください。  
付属のACアダプターはリモコン用ですので電源ユニットには使用しないでください。

#### ■充電機の交換方法

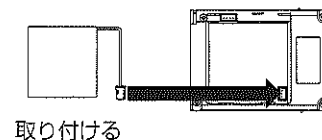
- ①電源ユニットの電池カバーを外します。



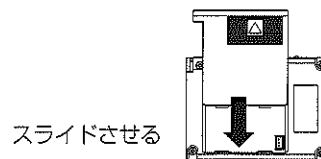
- ②コネクタを抜き、電池を取り出します。ラジオペンチなどを利用して引き抜いてください。コードを強く引っ張るとコードを切断するおそれがありますので絶対にコードは引っ張らないでください。



- ③新しい充電機を取り付けます。コネクタには方向性があります。間違った方向で無理にはめようとししないでください。



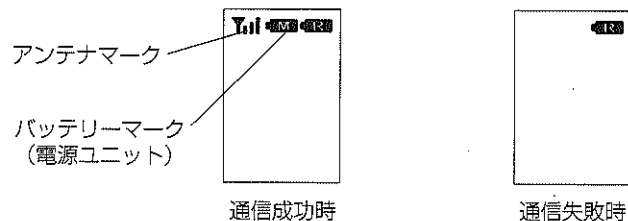
- ④電源ユニットの電池カバーを閉めます。



## ■ 7. リモコン・本体ユニットの機能 ■

### 7.1 通信機能

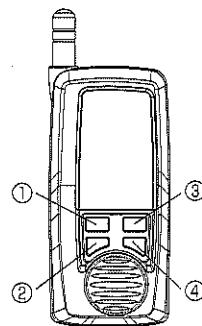
本機はリモコンにより本体ユニットを制御できます。  
 本体ユニットとの通信時はリモコンのディスプレイ上のアンテナマークが点滅します。  
 通信成功時はアンテナマークが点灯し、通信失敗時はアンテナマークとバッテリーマーク(電源ユニット)が消灯します。



#### ご注意

- 長時間、本体ユニットからの通信が届かない場所に居た場合、アンテナマークとバッテリーマーク(電源ユニット)が消灯します。

### 7.2 リモコン操作



- ①電源/ファンクションボタン(FUNC)  
リモコン電源のON/OFF切替、ファンクション待ちなどの操作を行います。
- ②エンターボタン(ENT)  
設定の決定、緊急警報などの操作を行います。
- ③オンボタン(ON)  
セキュリティONなどの操作を行います。
- ④オフボタン(OFF)  
セキュリティOFFなどの操作を行います。

#### ご注意

- ファンクションボタン(FUNC)を短く押すと、3秒間待受け状態になります。  
 通常時と待受け状態(ディスプレイが緑色に点滅)では、ボタン操作による動作が変わりますのでご注意ください。

#### ■ リモコン操作一覧

操作	機能	詳細
電源OFF中 <b>FUNC</b> 1秒	電源ON	P. 21
<b>FUNC</b> 3秒	電源OFF	P. 21
<b>ON</b> 1秒	セキュリティON	P. 21
<b>OFF</b> 1秒	セキュリティOFF	P. 21
<b>FUNC</b> → <b>ON</b> 1秒	買い物モード	P. 22
<b>ENT</b> 1秒	緊急警報	P. 24
警報動作中 <b>OFF</b>	リモコンの警報停止	P. 25
<b>FUNC</b> → <b>OFF</b> 1秒	本体ユニットの警報停止	P. 26
<b>FUNC</b> 1秒	リモコンの音/振動切替	P. 26
<b>FUNC</b> → <b>FUNC</b> 1秒	車内音声の受信	P. 27
<b>FUNC</b> → <b>ENT</b> 1秒	到達テスト	P. 29

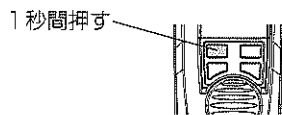
### 7.2.1 電源のON/OFF

リモコンの電源のON/OFFを切り替えます。

#### 操作方法

##### 電源 ON

電源ボタン(FUNC)を1秒間  
押します。



##### 電源 OFF

電源ボタン(FUNC)を3秒間  
押します。



### 7.2.1 セキュリティのON/OFF

セキュリティのON/OFFを切り替えます。

#### 操作方法

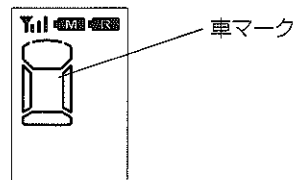
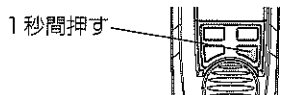
##### セキュリティ ON

オンボタン(ON)を1秒間押し  
ます。



##### セキュリティ OFF

オフボタン(OFF)を1秒間押し  
ます。



セキュリティON時

セキュリティONを行うと車マークが点滅します。  
車マークが点滅し始めてから30秒が経過すると「ブブッ」とブザーが鳴りセンサーの検出が始まります。  
センサーの検出が始まると、車マークが点灯します。  
セキュリティON時には、本体ユニットは威嚇ランプ点滅による威嚇動作を行います。

### 7.2.3 買い物モード

買い物モードは、人体センサーを無効にしてセキュリティをONするモードです。

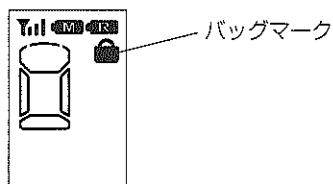
人通りの多い場所での駐車時などにお使いください。

#### 操作方法

- ①ファンクションボタン(FUNC)を短く押します。
- ②ディスプレイが緑色に点滅している間(3秒間)にオンボタン(ON)を1秒間押します。



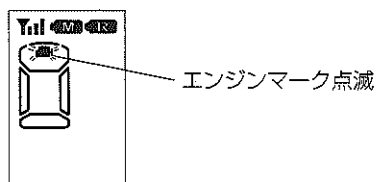
買い物モード時には、バッグマークが点灯します。



買い物モード時

#### ご注意

- セキュリティONと買い物モードは、車のエンジンが動作中に行うと、待機状態となります。エンジンが停止した時点で、開始されます。待機状態ではエンジンマークが点滅します。



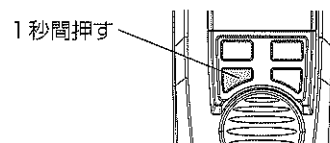
エンジン停止待ち時

#### 7.2.4 緊急警報

リモコン操作により、警報動作をさせます。警報動作のチェックなど、手で警報動作を行わせたい場合にご使用ください。

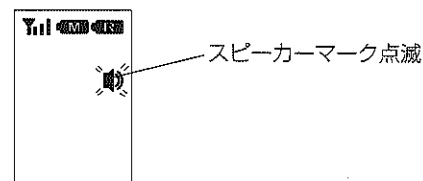
#### 操作方法

エンターボタン(ENT)を1秒間押します。



リモコンおよび本体ユニットが警報動作を開始します。カメラユニットを接続している場合は、撮影が行われます。

緊急警報時は、ディスプレイ上のスピーカマークが点滅します。また、ディスプレイが赤く点滅します。



緊急警報時

#### ご注意

- エンジン始動によるセキュリティ解除(P. 39)がありに設定してある場合、エンジン動作中は緊急警報を行えません。

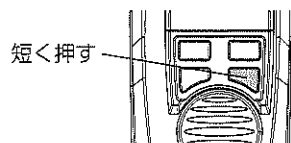
### 7.2.5 警報停止

リモコン操作により、リモコンと本体ユニットの警報動作を停止します。

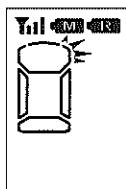
#### 操作方法

#### リモコンの警報停止

リモコンの警報動作中に、オフボタン(OFF)を短く押します。



警報停止後は、警報履歴が表示されます。



警報履歴(衝撃検出時)

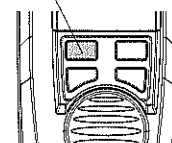
#### ちょっと一言

警報履歴の表示は、どれかボタンを押すと消えます。

#### 本体ユニットの警報停止

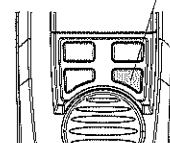
- ①リモコンの警報動作が停止している状態で、リモコンのファンクションボタン(FUNC)を短く押します。
- ②ディスプレイが緑色に点滅している間(3秒間)にオフボタン(OFF)を1秒間押します。  
※同時にカメラユニットの撮影も停止します。

短く押す



3秒間以内

1秒間押す



警報停止の30秒後、センサーの検出を再開します。

#### ご注意

警告動作中は警報停止以外の操作を受け付けません。  
他の操作を行いたい場合は、一度警報停止を行ってから他の操作を行ってください。

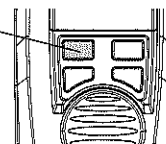
### 7.2.6 リモコンの音/振動切替

リモコンの操作音とアラームを、音のみ、振動のみ、音と振動両方に切り替えます。

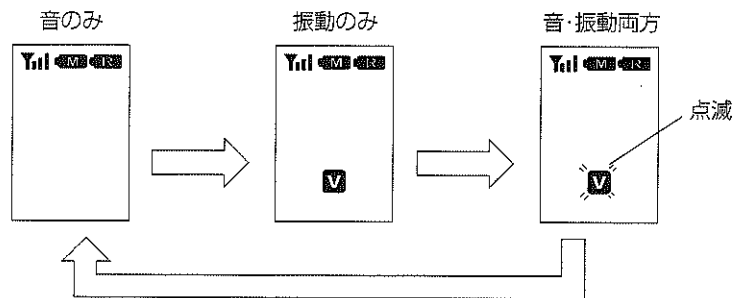
#### 操作方法

リモコンのファンクションボタン(FUNC)を1秒間押します。

1秒間押す



※操作の度に、矢印のように切り替わります



#### ご注意

ファンクションボタン(FUNC)を押しっぱなしにしているとリモコンの電源がOFFになってしまいます。  
ファンクションボタン(FUNC)を押し始めてから1秒が経過するとブザーが“ピー”と鳴ります(振動するように設定している場合はリモコンがブルッと振動します)ので、そこでボタンをはなしてください。

### 7.2.7 車内音声の受信

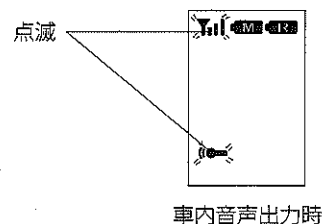
車内の音声をリモコンから聞くことができます。

#### 操作方法

- ①リモコンのファンクションボタン(FUNC)を短く押します。
- ②ディスプレイが緑色に点滅している間(3秒間)にファンクションボタン(FUNC)を1秒間押します。



車内の音声が、リモコンから30秒間出力されます。



#### ご注意

- 車内音声の出力中、リモコンは操作を受け付けません。
- 本体ユニットは車内音声を送信中、ほかのリモコンからの送信を受け付けません。  
複数のリモコンをご使用の場合はご注意ください。
- 本体ユニットが警報動作中の場合、車内音声の受信は行えません。  
一度、警報動作を停止してから行ってください。



## 7.2.8 到達テスト

今いる場所で、リモコンと本体ユニットの通信が可能かどうかの確認を行います。  
車から遠く離れた際には、通信が可能かどうか確認することをお勧めします。

### 操作方法

- ①リモコンのファンクションボタン(FUNC)を短く押します。
- ②ディスプレイが緑色に点滅している間(3秒間)にエンターボタン(ENT)を1秒間押します。



通信が成功した場合は、現在の設定情報(P. 34参照)が表示されます。  
通信ができなかった場合は、アンテナマークが消灯します。



通信成功時



通信失敗時

## 7.3 威嚇動作と異常検出

### 7.3.1 本体ユニットの動作

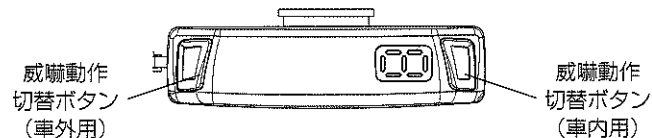
セキュリティON中に各種センサーにより車に対する異常を検出すると、リモコンに通知し、アラームと威嚇ランプの点滅による警報動作を行います。(警報動作は設定によりON/OFF切替可能)  
セキュリティONの状態では、本体ユニットは威嚇ランプの点滅による威嚇動作を行います。

### ちょっと一言

威嚇動作は点滅のパターンを変更できます。

### 操作方法

威嚇動作変更ボタンを押します。



点滅のパターンは車内用威嚇ランプが4種(消灯含む)、車外用威嚇ランプが6種(消灯含む)から選べます。  
駐車中に威嚇動作を行わせたくない場合は、消灯に設定してください。

### 7.3.2 リモコンへの異常通知

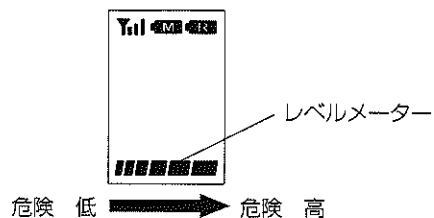
異常を検出すると、異常の種類をリモコンへ通知します。  
通知を受けたリモコンは、異常の種類をディスプレイに表示し、警報動作を行います。

### 7.3.3 リモコンの警報動作

本体からの通知を受けると、リモコンはアラームによる警報動作を行います。  
ディスプレイには検出された異常とスピーカマークが表示され、赤色と橙色に点滅します。

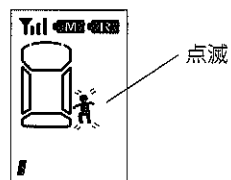
#### レベルメーター

検出した異常の種類や数をもとに、危険の度合いを表示します。  
レベルメーターが長くなるほど、危険度が高いことを表します。



#### うろつき警告

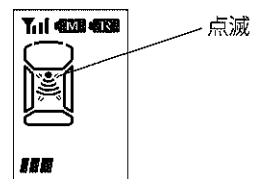
人が車付近をうろついていることを知らせます。人マークが点滅します。



うろつき検出時

#### 侵入警告

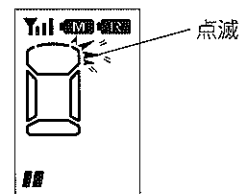
車への人の侵入を知らせます。  
人体センサーマークが点滅します。



侵入検出時

#### 衝撃警告

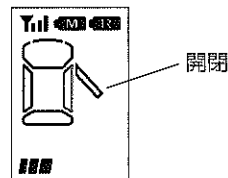
車に衝撃が与えられたことを知らせます。  
衝撃マークが点滅します。



衝撃検出時

#### ドア開放警告

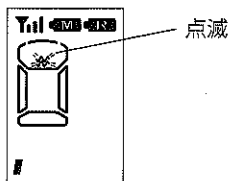
車のドアが開かれたことを知らせます。  
車マークのドア部分が開閉します。



ドア開放検出時

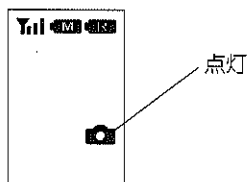
## 振動警告

車が振動していることを知らせます。  
振動マークが点滅します。



振動検出時

- カメラユニットによる撮影が行われると、リモコンにカメラマークが点灯します。



※警報動作の停止方法は、「7.2.5 警報停止」(P.25)をご覧ください。

## 7.4 各種設定

セキュリティ動作や警報動作の設定は設定モードで行います。  
センサーの感度切替は、本体ユニットおよび電源ユニットのスライドスイッチにより行います。

### ご注意

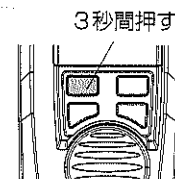
- 設定モードによる設定変更は、エンジン動作中かつセキュリティOFFの場合のみ行えます。

### 7.4.1 設定モード

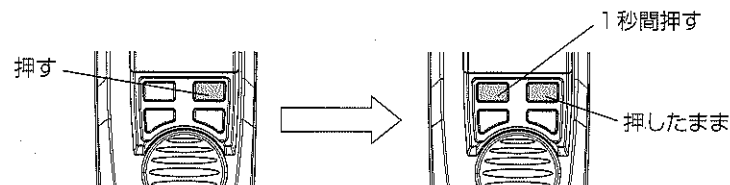
以下の操作で設定モードになります。

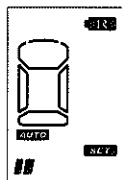
### 操作方法

- ①一度、リモコンの電源をOFFにします。  
リモコンの電源がONになっている場合  
電源ボタン(FUNC)を3秒間押します。



- ②リモコンのオンボタン(ON)を押しながらリモコンの電源ボタン(FUNC)を1秒間押します。





設定モード時

ちょっと一言

設定モード中、ディスプレイ右下に **SET** マークが点灯します。  
設定モードは、30秒間何も操作しなかった場合終了します。  
すぐに終了したい場合は、電源をOFFにしてください。

■設定項目と初期設定

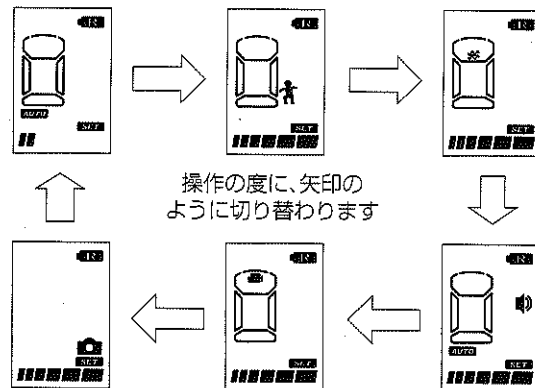
	設定項目	初期設定
1	オートセキュリティ	OFF
2	うろつき検出による警報動作	あり
3	振動検出による警報動作	あり
4	本体ユニットの警報動作	あり
5	エンジン始動によるセキュリティ解除	あり
6	警報1回当たりの画像撮影枚数	4枚

■設定モード中の操作

操作	内容
オンボタン、オフボタン	設定切替
ファンクションボタン	設定項目の変更
エンターボタン	設定送信

●設定切替(オンボタン(ON)またはオフボタン(OFF)を押す)  
操作のたびに設定が切り替わります。  
レベルメーターの長短で設定を表します。

●設定項目の変更(ファンクションボタン(FUNC)を短く押す)  
操作のたびに設定項目が切り替わります。  
設定項目に対応した表示が表れます。  
「警報1回当たりの画像撮影枚数」の設定時に、設定項目の変更を行うと「オートセキュリティ」の設定に戻ります。



操作の度に、矢印の  
ように切り替わります

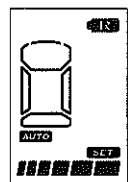
●設定送信(エンターボタン(ENT)を1秒間押す)  
設定情報を本体ユニットに送信します。  
通信後、設定状態がディスプレイに順番に表示されます。

ご注意

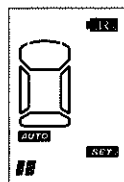
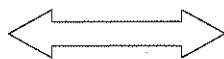
通信エラーが起こった場合は設定し直してください。

## オートセキュリティ

オートセキュリティのON/OFFを切り替えます。  
オートセキュリティをON設定中は、エンジンを停止後にリモコンを持って車から離れているとセキュリティがONとなります。  
リモコンを持って車に近づくと、セキュリティがOFFとなります。



オンボタンまたは  
オフボタン短く押す



オートセキュリティON  
レベルメーター 長

オートセキュリティOFF  
レベルメーター 短

オートセキュリティをON設定中は、ディスプレイに **AUTO** マークが点灯します。

### ちょっと一言

オートセキュリティ判定中は、**AUTO** マークが点滅します。

### ご注意

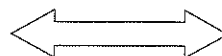
- 通信状況によってはオートセキュリティが正常に動作しないことがあります。
- オートセキュリティ機能によりセキュリティ動作がOFFになった直後から5分以内に車のエンジンが始動されなかった場合、安全のためセキュリティ動作がONになります。

## うろつき検出による警報動作

うろつき検出による警報動作を行うかどうかを設定します。



オンボタンまたは  
オフボタン短く押す

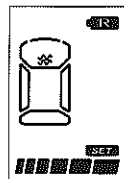


うろつき検出時 警報動作あり  
レベルメーター 長

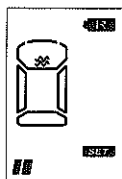
うろつき検出時 警報動作なし  
レベルメーター 短

## 振動検出による警報動作

振動検出による警報動作を行うかどうかを設定します。



オンボタンまたは  
オフボタン短く押す

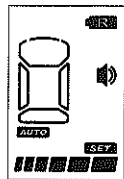


振動検出時 警報動作あり  
レベルメーター 長

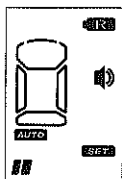
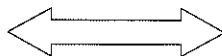
振動検出時 警報動作なし  
レベルメーター 短

## 本体ユニットの警報動作

本体ユニットの警報動作のON/OFFを切り替えます。



オンボタンまたは  
オフボタン短く押す



警告動作 あり  
レベルメーター 長

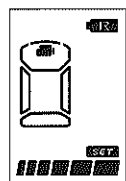
警告動作 なし  
レベルメーター 短

### ちょっと一言

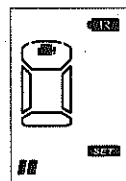
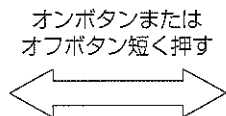
本体ユニットの警報動作がOFFの状態でも、リモコンへの通知は行います。  
カメラユニットを接続している場合は、本体ユニットの警報動作がOFFの状態でも撮影が行われます。

### エンジン始動によるセキュリティ解除

エンジンを始動させた時に、セキュリティを解除するかどうかの設定です。



エンジン始動による  
セキュリティ解除あり  
レベルメーター 長



エンジン始動による  
セキュリティ解除なし  
レベルメーター 短

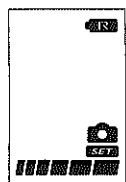
エンジンスターターを使用し車から離れた場所でエンジンをかけた時に、セキュリティを解除したくない場合、エンジン始動によるセキュリティ解除をなしに設定してください。

#### ご注意

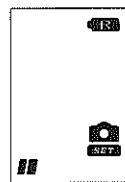
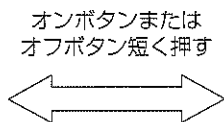
- エンジン動作中は誤検出を防ぐため、振動センサーが無効になります。

### 警報1回当たりの画像撮影枚数

1回の警報動作中に撮影する画像の枚数を、2枚と4枚のどちらかに設定できます。



撮影数4枚  
レベルメーター 長



撮影数2枚  
レベルメーター 短

### 7.4.2 設定の初期化

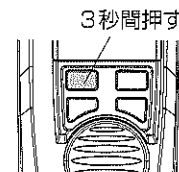
以下の操作で、設定モードで変更した設定を初期化できます。

#### ご注意

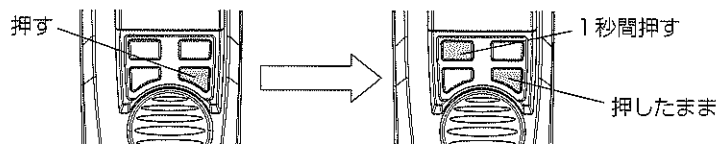
- 設定の初期化は、エンジン動作中かつセキュリティOFFの場合のみ行えます。

#### 操作方法

- ①一度、リモコンの電源をOFFにします。  
リモコンの電源がONになっている場合  
電源ボタン(FUNC)を3秒間押します。



- ②リモコンのオフボタン(OFF)を押しながらいリモコンの電源ボタン(FUNC)を1秒間押します。  
本体ユニットとの通信後、設定状態がリモコンのディスプレイに順番に表示されます。



#### ご注意

通信エラーが起こった場合は、再度設定の初期化を行ってください。

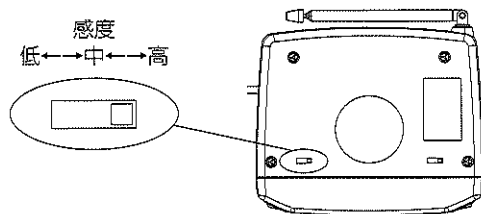
### 7.4.3 センサー感度切替

本体ユニットおよび電源ユニットのスライドスイッチにより各センサーの感度を変更できます。

#### 操作方法

#### 人体センサー

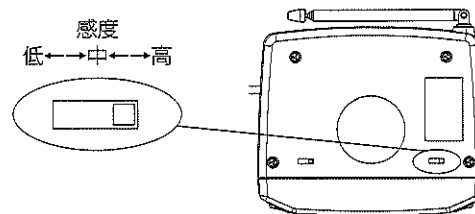
本体ユニット裏面の人体感度切替スイッチ(BODY)で切り替えます。



感度 低	小型車、車の周辺に動くものが多い場合
感度 中	普通車
感度 高	大型車、車の周辺に動くものがほとんどない場合

#### 振動センサー

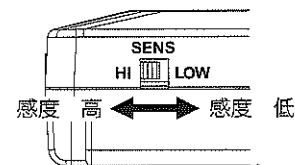
本体ユニット裏面の振動感度切替スイッチ(VIBRATION)で切り替えます。



感度 低	小型車、振動の多い場合
感度 中	普通車
感度 高	大型車、振動の少ない場合

#### 圧力センサー

電源ユニット側面の圧力感度切替スイッチ(SENS)で切り替えます。



気密性と車内空間の大きさにて圧力の検出精度は変わります。  
 ドアをゆっくり開いて検出できる感度を選択してください。  
 車のエンジンを停止した状態で電源ユニットの電源スイッチをONにすると、30秒間圧力センサーの感度チェックができます。  
 圧力センサーで検出されると電源ユニットの電源ランプが点灯しますのでめやすにしてください。  
 感度チェック中は警報動作を行いません。

## 7.5 ID登録

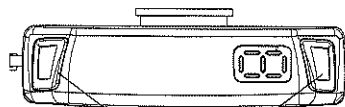
本製品は別売りのリモコンを追加することで、複数のリモコンによる操作が可能になります。  
複数のリモコンで操作を行いたい場合は、本体ユニットにリモコンのIDを登録する必要があります。

### 操作方法

本体ユニットとリモコンの両方をID登録モードにしてください。  
以下の操作でID登録モードになります。

### 本体ユニット

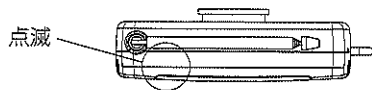
2つの威嚇動作切替ボタンを同時に1秒間押します。  
ID登録モードに入ると、ブザーが“ビビッ、ピー”と鳴ります。



同時に押す(1秒間)

### ご注意

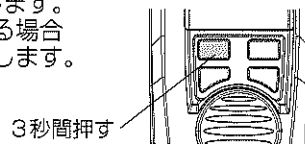
ID登録モードは、エンジン動作中かつセキュリティOFFの場合のみ行えます。  
同時に押せなかった場合は、威嚇動作切替になります。  
ID登録モードに入ると、車外用威嚇ランプのうちアンテナ側の一つが点滅します。



点滅

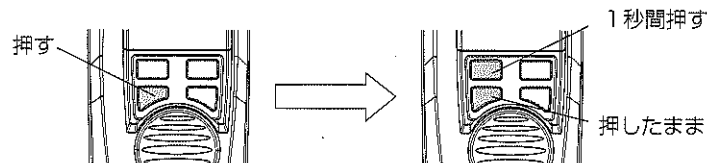
### リモコン側

①一度、リモコンの電源をOFFにします。  
リモコンの電源がONになっている場合  
電源ボタン(FUNC)を3秒間押します。



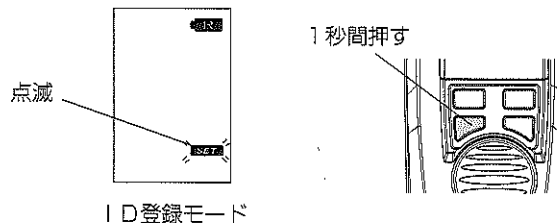
3秒間押す

②リモコンのエンターボタン(ENT)を押しながらリモコンの電源ボタン(FUNC)を1秒間押します。  
ID登録モードになります。



1秒間押す

本体ユニットとリモコンの両方がID登録モードの状態、リモコンのエンターボタン(ENT)を1秒間押すと、ID情報を送信します。



点滅

ID登録モード

1秒間押す



IDが登録されると、点滅していた車外用威嚇ランプが点灯に変わり、一つ隣の威嚇ランプが点滅をはじめます。



#### ちょっと一言

- ID登録が完了すると、リモコンはID登録モードを終了し通常動作になります。  
また、30秒間何も操作しなかった場合も、ID登録モードを終了し通常動作になります。
- 本体ユニットはエンジンを停止するか、60秒間ID情報が送られてこない場合に、ID登録モードを終了します。  
したがって、複数のリモコンを登録する場合は、60秒以上間を空けないように、連続で登録してください。
- ID登録モードをすぐに終了したい場合は、いったん電源をOFFにしてください。

#### 注意

- 新たにID登録を行うと、ID登録モードに入る以前に登録したリモコンは使えなくなります。  
お手数ですが、使用するリモコンすべてのID登録を連続で行ってください。
- リモコンは4台まで登録できます。

## ■ 8. 画像メモリーユニット・カメラユニットの機能 ■

### 8.1 画像メモリーユニット・カメラユニットを接続してできること

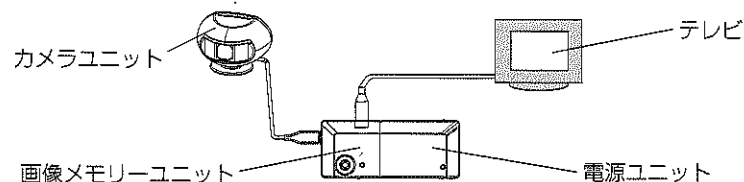
電源ユニットの圧力センサー、本体ユニットの人体センサーと振動センサーで異常を検出した場合に、車内の様子を自動的に撮影し、保存します。リモコンで緊急警報操作を行った場合にも、撮影・保存します。画像には撮影時刻のタイムスタンプを記録しますので、異常検出・撮影時の時刻を参照することが可能です。(あらかじめ、現在時刻の設定を行っておく必要があります。)

保存した画像は、TVに接続またはパソコンにデータ転送して確認できます。

### 8.2 画像メモリーユニット・カメラユニットの設置

画像メモリーユニットの設置およびカメラユニットの設置画像を確認するためには、ビデオ入力を持ったモニター(家庭用テレビ、カーナビ等)を接続する必要があります。

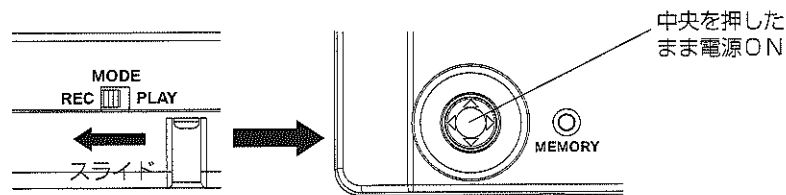
以降の操作は各ユニットを接続・設置の上、画像メモリーユニットのビデオ出力とモニターのビデオ入力を接続し、モニター画面を見ながら行ってください。(モニターのチャンネルはビデオにセットしてください。)



## 8.2.1 設置モード

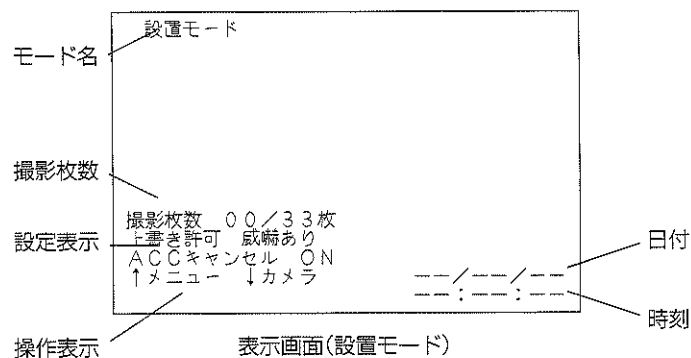
### 操作方法

画像メモリーユニットのモードスイッチ(MODE)をREC側に切り替え、方向キー中央を押したまま、電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をONにします。



### ご注意

- 本機を使用しない場合、または配線作業等を行う場合は、内蔵電池の消耗を防ぐため必ず電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をOFFにしてください。



日付・時刻は未設定の場合、「---」と表示されます。

撮影枚数、現在の設定、時刻等が表示されます。

180秒間経過すると、自動的に撮影モード(異常検出時に撮影を行う状態)に入ります。

設定に問題がなければ、速やかに車外に出てください。

### ご注意

- 時刻が未設定の場合や電池切れなどにより記録が無効となった場合、画面右下の時計表示がクリアされます。時刻設定モードの説明に従って時刻を設定してから使用してください。  
未設定の状態では、有効なタイムスタンプを記録できません。  
万一の場合に正確な情報が得られるよう、時刻は必ず正しく設定してください。

### 設定を変更するには

カメラ画像の確認・各種設定の変更・時計時刻の設定は、画面表示に従って方向キーを操作し、各モードに移行してから行います。

操作	モード	内容
方向キー↑	メニューモード	各種設定の変更、時計時刻の設定を行います。
方向キー↓	カメラモード	カメラの設置画像を確認できます。

### ちょっと一言

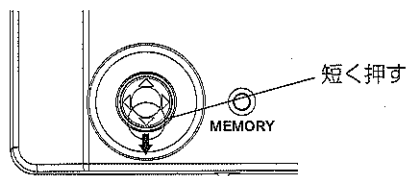
方向キーの中央を押すと、その時点で撮影モードに移行します。  
設置後の撮影・確認をすぐに行いたい場合などに使用します。

### 8.2.2 カメラ画像の確認方法

カメラユニットの映り具合を確認するには、設置モードからカメラモードを選択します。

#### 操作方法

設置モード中に、画像メモリーユニットの方向キー↓を押します。



モニターに表示されるカメラ映像を確認しながら設置場所を決め、カメラユニットの固定を行います。

#### ちょっと一言

カメラモードに移行してから180秒経過すると、自動的に設置モードに復帰します。  
また、方向キーを入力するとすぐに設置モードに復帰します。

#### ■車内にモニターを持ち込めない場合の確認方法

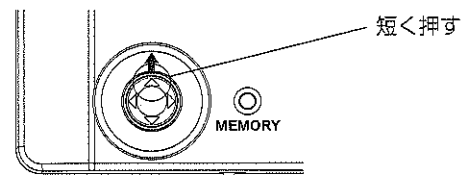
手で撮影を行い(撮影モード中に方向キーの中央を押すと手動撮影)、再生モード(P. 59参照)で画像の確認を行ってください。

### 8.2.3 各種設定の変更方法

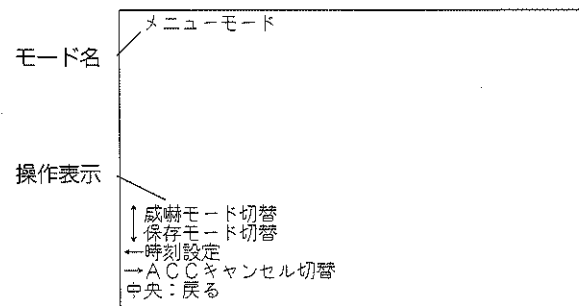
各種設定や時計時刻の設定を行うには、設置モードからメニューモードを選択します。

#### 操作方法

設置モード中に、画像メモリーユニットの方向キー↑を押します。



#### ■メニューモードで設定できること



表示画面(メニューモード)

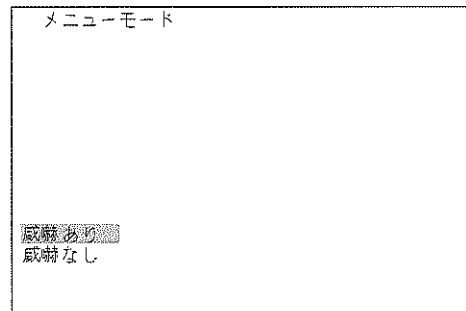
操作	設定	内容
方向キー↑	威嚇モード切替	カメラユニットの簡易威嚇動作を切り替えます。
方向キー↓	保存モード切替	撮影枚数が一杯になった場合の処理を切り替えます。
方向キー→	A C Cキャンセル切替	エンジンの始動を検出した場合の撮影画像の自動消去機能を切り替えます。
方向キー←	時刻設定	現在時刻を設定します。

●威嚇モード切替(メニューモード中、方向キー↑を押す)

設定が“威嚇あり”の場合、撮影モード時にカメラユニットの威嚇ランプによる簡易威嚇動作を行います。

簡易威嚇動作

エンジン停止中、8秒間隔で威嚇ランプが点滅します。



表示画面(威嚇モード切替中)

方向キー↑↓で選択、方向キー中央を押すと決定します。

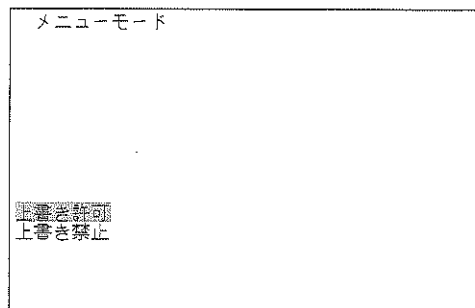
ちょっと一言

駐車中に簡易威嚇動作を行わせたくない場合は、威嚇モードを“威嚇なし”に設定してください。  
初期状態では、威嚇モードは“威嚇あり”に設定されています。

●保存モード切替(メニューモード中、方向キー↓を押す)

設定が"上書き禁止"の場合、撮影容量が一杯になった以降の撮影・保存は行いません。

設定が"上書き許可"の場合、撮影容量が一杯になると古い画像を消去しながら新しい画像を順次保存します。



表示画面(保存モード切替中)

方向キー↑↓で選択、方向キー中央を押すと決定します。

——— ちよつと一言 ———

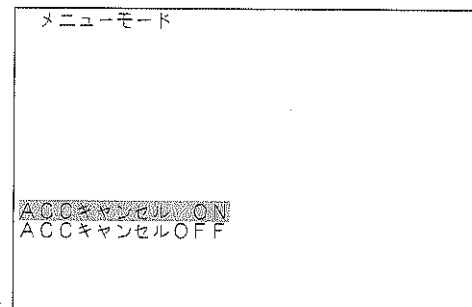
初期状態では、"上書き禁止"に設定されています。

●ACCキャンセル切替(メニューモード中、方向キー→を押す)

本体ユニットを接続していない場合に有効な設定です。

設定が"ACCキャンセル ON"の場合、駐車中(エンジン停止時)に撮影した画像を撮影後30秒以内にエンジンが始動された時点で自動的に消去します。

本体ユニットを接続していない場合、車に乗り込む際に自分自身が撮影されてしまいますので、その際の画像を自動消去することができます。



表示画面(ACCキャンセル切替中)

方向キー↑↓で選択、方向キー中央を押すと決定します。

——— ちよつと一言 ———

自動消去されるのは、電源ユニットの圧力センサーによる異常検出での撮影画像です。

手動撮影(撮影モード中、方向キーの中央を押す)による画像は、自動消去の対象になりません。

初期状態では、"ACCキャンセル ON"に設定されています。

### 8.3 設置後の動作

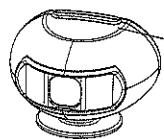
画像メモリーユニットのモードスイッチ(MODE)をREC側に切り替え、電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をONにすると撮影モードになります。

撮影モードは、異常検出時に撮影を行うモードです。撮影モード中は威嚇動作を行います。

#### 8.3.1 威嚇動作

##### 通常時

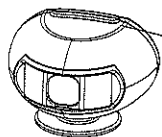
車のエンジン停止時には、威嚇ランプの点滅による簡易威嚇動作を行います。



8秒毎に2回点滅

##### 異常検出時

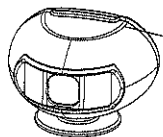
異常検出時には撮影を行い、画像を保存します。撮影時は、5秒おきに点滅します。



5秒おきに2回点滅

##### 画像保存容量の空きがない場合

撮影後に保存容量の空きがなくなると、威嚇ランプの点滅パターンが変わります。



2秒毎に3回点滅

### ちょっと一言

威嚇モードの設定が“威嚇なし”の場合、簡易威嚇動作は行いません。

#### 8.3.2 撮影履歴

車のエンジン動作中、簡易威嚇動作を停止し、威嚇ランプにより撮影履歴を表示します。

画像保存容量に空きがない場合は、画像保存容量の空きなしの表示が優先されます。

威嚇ランプ	撮影履歴
点滅	あり
消灯	なし

### ちょっと一言

撮影履歴は、再生モードまたは通信モード(パソコン接続)を起動した時点でクリアされます。

威嚇ランプが点灯する場合は、時刻設定ができていないことを表します。

## 8.4 画像の再生方法

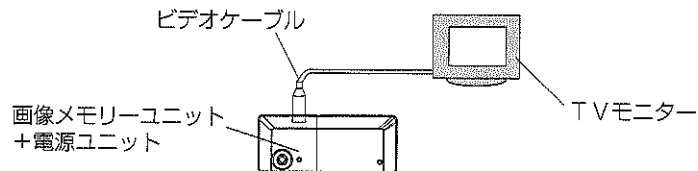
撮影した画像の確認は、画像ユニットをTVモニターまたはパソコンに接続して行います。

### 8.4.1 TVモニターによる確認方法

#### 接続方法

##### ■家庭用TVを使用する場合

家庭用TVに接続して確認する場合は、画像ユニットと電源ユニットのみを取り外して屋内のTVとビデオケーブルで接続します。



#### ご注意

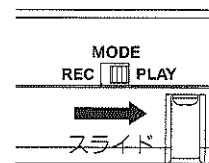
- 取り外しの際は、内蔵電池の消耗を防ぐため電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をいったんOFFにします。
- 取り外しの際、画像メモリーユニットと電源ユニットを分離すると、時計機能がクリアされますのでご注意ください。

##### ■車載のモニターを使用する場合

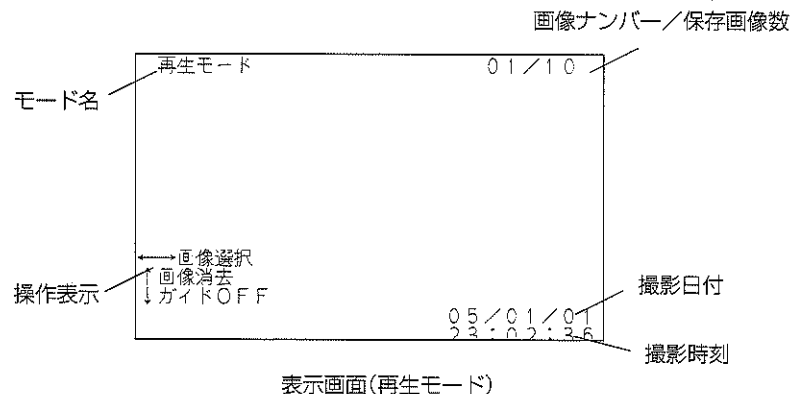
車載のモニターに接続して確認する場合も、いったん電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をOFFにして、車載モニターのビデオ入力端子と画像メモリーユニットをビデオケーブルで接続します。

#### 再生方法

- ①画像メモリーユニットのモードスイッチ(MODE)をPLAY側にスライドします。



- ②電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をONにします。モニターに保存画像が再生されます。



#### ■再生モード中の操作

方向キー↑	画像の消去を行います。
方向キー←→	表示画像を順次変更して再表示します。
方向キー↓	ガイド表示を消します。

### ちょっと一言

画像は撮影時期の古い順に1, 2, 3...と番号が振ってあります。  
1枚も画像が保存されていない場合は、「画像がありません」と表示されます。

#### ●ガイドOFF

表示画像上のガイド表示を消します。

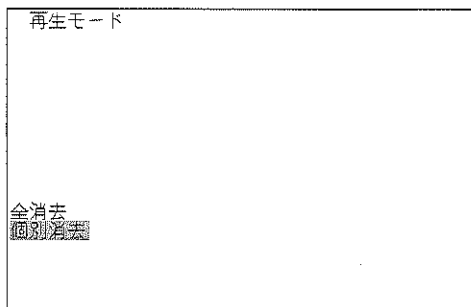
再生モードでの表示画像は、ガイド表示を見やすくするために画像を暗くして表示しています。

ガイドOFFの操作を行うことで、保存されている画像をそのままの明るさで表示できます。

何か方向キーを入力するとガイド表示が現れます。

#### ●画像消去

画像の消去には、現在表示中の画像を消去する“個別消去”、保存されているすべての画像を消去する“全消去”があります。



表示画面(画像消去)

方向キー↑↓で選択、方向キー中央を押すと決定します。

#### ご注意

- 一度消去した画像は、復元できません。誤って画像消去を選んだ場合は、決定する前に方法キー←→を押して画像消去から抜けてください。  
また、30秒間何も操作しなかった場合、画像消去から自動で抜けます。

### 8.4.2 パソコンによる確認方法

パソコンと接続し、専用のソフトを使用して保存されているデータをパソコンに転送することが可能です。

詳しくは添付のCD-ROMに収録されている説明書を参照してください。

### ちょっと一言

保存できる画像の容量には限りがあります。

新しい画像を確実に保存するため、または保存されていた古い画像を誤って消去しないために、撮影された画像は逐次再生しビデオなどで録画する、またはパソコンで読み出した後、消去することをお勧めします。



## 9. 仕様

### ◆リモコン

適合技術基準……特定小電力無線  
使用周波数帯……400MHz帯・テレコントロール  
通信方式……双方向通信方式  
電源電圧……DC3.6V  
消費電流……監視時 1.0mA(平均値)  
                  警報時 60mA(最大値)  
動作温度範囲……-10℃~+60℃  
寸法……37(W)×80(D)×19(H)mm(アンテナ部除く)  
重量……60g  
連続動作……約7日  
充電時間……約8時間

### ◆本体ユニット

適合技術基準……特定小電力無線  
使用周波数帯……400MHz帯・無線電話  
                  2.4GHz帯移動体検出センサー  
通信方式……双方向通信方式  
電源電圧……DC3.6V  
消費電流……監視時 2.0mA(平均値)  
                  警報時 60mA(最大値)  
動作温度範囲……-10℃~+60℃  
寸法……90(W)×75(D)×28(H)mm(アンテナ部除く)  
重量……160g(コード含む)  
検出機能……うろつき、侵入、振動、ドア開放、衝撃  
                  車内音確認

### ◆電源ユニット

電源電圧……DC3.6V  
消費電流……1.0mA(平均値)  
動作温度範囲……-10℃~+60℃  
充電温度範囲……-10℃~+50℃  
寸法……65(W)×90(D)×27(H)mm  
重量……130g(充電池含む)  
連続動作……監視時 約7日  
                  画像確認時 約4時間  
充電時間……約2時間(急速充電時)

### ◆カメラユニット

電源電圧……DC3.6V  
消費電流……200mA(最小値)  
                  450mA(最大値) 車内の明るさにより変化  
動作温度範囲……-10℃~+60℃  
寸法……70(W)×51(D)×50(H)mm  
重量……130g(コード含む)  
解像度……27万画素(白黒)

### ◆画像メモリーユニット

電源電圧……DC3.6V  
消費電流……撮影モード時 0.2mA(平均値)  
                  撮影モード以外 250mA(最大値)  
動作温度範囲……-10℃~+60℃  
寸法……65(W)×66(D)×27(H)mm  
重量……50g(コード含む)  
画像保存容量……33枚

## 10. 故障とお考えになる前に

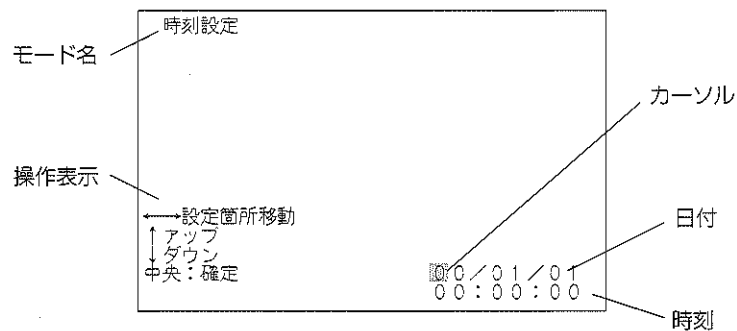
ご使用中に異常を感じたときは故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	●電池が消耗している。 →充電してください。(P. 16)
電源ユニットがすぐにバッテリー低下状態になる。	●運転時間が短い。 →エンジンが停止した状態では充電されませんので連続で2時間以上運転してください。(P. 17)
リモコンがすぐにバッテリー低下状態になる。	●十分に充電が出来ていない。 →8時間以上充電してください。(P. 16)
警報動作しない。	●セキュリティがONになっていない。 →セキュリティをONにしてください。(P. 21) ●セキュリティをONにしてから30秒以上経過していない。 →30秒後に確認してください。 ●警報動作をOFFにしている。 →警報動作をさせたい場合は設定をONにしてください。(P. 34)
本体ユニットは警報動作しているのに、リモコンに通知されない。	●本体ユニットと通信が出来ない場所にいる。 →到達テストを行い、通信状況を確認してください。 通信可能な場所に移動してください。(P. 29)
車の近くに人がいないのに「うるつき」警告がでる。	●周囲に常時動くものがある場所に駐車している。 →人体センサーは人以外の動くものにも反応します。 また、環境により電波が反射して通常よりも離れた場所の動くもの(人)を検出することがあります。

症 状	原 因
オートセキュリティが動作しない。	●本体ユニットとリモコンが通信できていない。 →通信状況によってはオートセキュリティが正常に動作しないことがあります。
設定モード、ID登録モードにならない。	●セキュリティがONになっている、またはエンジンが停止している。 →設定モードおよびID登録モードは、エンジン動作中かつセキュリティOFFの場合のみ行えます。
カメラユニットによる撮影が行われない。	●保存容量が一杯で、上書き禁止に設定している。 →上書き許可に設定するか、不要な画像を消去してください。(P. 50) ●電源電圧が低下している。 →電池容量が低下した状態では撮影できませんので、充電してください。(P. 17) ●撮影モードに入っていない。 →モードスイッチをREC側に切り替えてください。(P. 57)
保存画像に時刻表示がない。	●時刻設定を行っていない。 →時刻設定を行ってください。(P. 50) ●画像メモリーユニットと電源ユニットの接続を外した、あるいは電源ユニットのバッテリーが切れた。 →画像メモリーユニットへの電源供給が断れると時刻設定がクリアされますので、もう一度設定してください。
保存画像の向きなどがおかしい。	●カメラの設置位置・方向が適切ではない。 →設置モードからカメラモードに入り、モニター画面で画像を確認しながらカメラの設置位置を再調整してください。(P. 49)

●時刻設定(メニューモード中、方向キー←を押す)

保存画像に記録するタイムスタンプ用の時計の設定を行います。



表示画面(時刻設定モード)

方向キーの←→でカーソルを移動し、方向キーの↑↓で数値変更、方向キーの中央で設定を確定します。

設定の確定後は、メニューモードに移行します。

また、30秒間なにも操作しなかった場合もメニューモードに移行します。確定した段階で時刻更新を行います。

ちょっと一言

時刻は、設置前に必ず正しく設定してください。設定時刻が正しくない、または未設定の場合、画像に正しいタイムスタンプを記録することができません。

いったん時刻を設定すれば、電源ユニットの電源スイッチ(POWER)をOFFにしても時計時刻に影響はありません。

正しい時刻を引き続き記憶しています。

ご注意

時刻を設定してから、電源ユニットと画像メモリーユニットを分離しないでください。

時刻情報が消えるため、時刻の設定が再度必要になります。

また、電源ユニットの内蔵電池が充電切れとなった場合も、時刻情報が消えることがあります。

ランプによる設定表示

設置モード中は、ランプの点滅により設定の確認が出来ます。

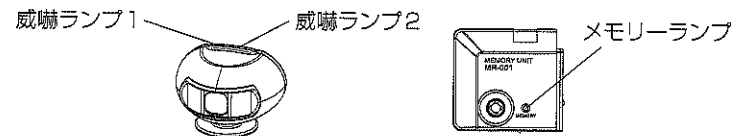
(威嚇設定の表示は設置モードになった直後のみです。)

“威嚇あり”の場合、設置モードになった直後、威嚇ランプ1、2が3秒間点灯します。

“威嚇なし”の場合、設置モードになった直後、威嚇ランプ1、2が3秒間消灯します。

威嚇設定の表示が終わると、下表のように設定を表示します。

設定	威嚇ランプ1	威嚇ランプ2	メモリーランプ
上書き 禁止	ゆっくり点滅	—	—
許可	速く点滅	—	—
ACC ON	—	ゆっくり点滅	—
OFF	—	速く点滅	—
メモリ空き あり	—	—	ゆっくり点滅
なし	—	—	速く点滅



## ●保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ販売店に修理を依頼してください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の電源使用(電圧・周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷
  - (ニ) 保証書のご提示がない場合
  - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 保証書は日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

- 保証期間はお買い上げ日から一年間です。  
保証書(本書に刷り込まれています)は必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
  - 修理を依頼されるときはまず配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のあるとき修理依頼してください。
- 保証期間中は:保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは:お買い求めの販売店にご相談ください。修理により製品機能が維持できる場合はご希望により有料で修理させていただきます。
- あらかじめご承知いただきたいこと…  
修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に変わって同等品と交換させていただくことがあります。また出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご了承ください。

### ●商品についてのお問い合わせは…

マルハマサービス      フリーダイヤル   0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は      TEL      045-251-2687